

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【中尾小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語・社会・算数・理科の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果より3pt向上させる。 ⇒ 朝の中尾タイム(国語や算数の学習)において、児童の語彙力を増やす活動を行ったり、話し合い活動が充実するような指導の時間を設けたりする。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の国語・社会・算数・理科の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校結果より3pt向上させる。 ⇒ 教科ごとの読解力指導の学年別系統表を作成し、各教科のつながりや各学年のつながりを意識しながら授業を行う。また、考えたり比べたりする場面でICT機器を積極的に活用する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査の「国語・社会・算数・理科の勉強は好きですか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合を80%以上にする。 ⇒ 本校で独自に作成した「家庭学習の手引き」を全家庭に配布し、「なかよしタイム」として位置付け、児童が意欲的に家庭学習に取り組めるようにする。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-4pt、-8ptであった。算数の「全部の椅子の数を求めるために50×40を計算する」問題で解答類型を見てみると、200と解答している児童が約25%いた。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-3pt、-8ptであった。算数の「2種類の辞典を全部並べた長さを求める2つの式について、それぞれどのようなことを表しているのか」を選ぶ問題の正答率が低いことから、式の意味を理解していないことが考えられる。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「国語・算数の勉強は好きですか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合は国語73%、算数63%で目標値に達しなかった。より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	変更なし ⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし ⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし ⇒ 変更なし